

クマ遭遇注意！



撮影：稲垣亜希乃

栃木県にはツキノワグマがすんでいます。

普段はおとなしい動物ですが、時には人を襲うこともあります。
事故を防ぐためには、「**クマと出会わない**」ことが最も大切です。

～クマと出会わないように～

- クマがいそうな場所に行かない
- 早朝や夕方特に注意！
- 1人での行動は避ける
- クマ鈴**などを身に付けて、音を出しながら歩く



～もし出会ってしまったら～

自分の身や子グマを守るために、あるいは食べ物を取られないようにするために、人を襲うことがあります

クマを刺激しないことが大切です！

- 静かにゆっくりとクマから離れる
- 逃げるときはクマに背を向けず、走らない
- 単独行動はせず、複数人で固まる
- 子グマには絶対近づかない

万が一襲われた時の防御姿勢
顔・腹部・首等の急所を守る姿勢をとりましょう



クマ撃退スプレーも
有効です！



ツキノワグマの特徴

- きゅうかく嗅覚がすごい
- 木登りがうまい
- 人より足が速い
- 食べ物の多くは植物質（葉や果実など）だが、動物質（ハチやアリなどの昆虫、シカなどの動物）も食べる
- 体重は大人のオスで80kg程度、メスで60kg程度

120～140cm程度



【足跡】



～クマを寄せつけないために～

ヤブの刈り払い

クマは茂みの中に身を隠したり、移動したりします。家屋や農地周辺のヤブの刈り払いをすることで、クマの通り道をなくすことができます。継続して刈り払いを行いましょう。



ヤブの刈り払い



生ごみ・野菜くずの処理

生ごみは外に放置せずに屋内で保管し、収集日の当日の朝にごみを出すようにしましょう。野菜収穫後に畑に残った廃棄野菜や葉、茎などもエサになるので、必ず焼却か埋設して処分しましょう。



クマ対策ゴミステーション



庭の果樹等の管理

庭の果樹や家庭菜園はクマのエサ場になります。クマが来ないように、不用な果樹は放置せずに処分するか伐採しましょう。果樹や菜園を電気柵で囲うのも有効です。



電気柵



● 栃木県警察公開マップ

クマの出没日時・場所・個体情報を見ることができます。クマのほか、シカやサル、イノシシの出没情報も確認することができます。



● 栃木県自然環境課HP

クマの科学的かつ計画的な保護管理、被害対策の推進のための計画や、モニタリング結果、各種対策などを掲載しています。



● 防犯アプリ「とちぎポリス」

「県警察公開マップ」と同じようにクマなどの野生動物の出没情報を地図上で見ることができます。

令和8年1月からクマよけ鈴機能^(※)が追加されました！スマホで手軽にクマ対策ができます！

※アプリ内の「防犯ブザー」のボタンをタップし、「クマ鈴を鳴らす」ボタンを押すと、鈴のような音が大きく鳴ります。



● クマ普及啓発動画

クマの生態や、遭遇してしまった場合の対応など、クマに関するあれこれを1つの動画にまとめました！

栃木県公式YouTubeチャンネル「15Tube」で公開しています！

※一般向けと子供向けの2種類の動画があります。

